

## 二本松市教育委員会会議録

令和6年12月19日午後3時00分二本松市教育委員会定例会議を二本松市役所教育委員会室に招集した。

○会議に出席した委員は次のとおりである。(発言内容を簡略化)

教 育 長	渡 辺 惣 吾
教育長職務代理者	佐 藤 英 之
教 育 委 員	関 奈 央 子
教 育 委 員	関 健 至
教 育 委 員	太 田 左 恵 子

○会議に説明のため出席した職員は次のとおりである。

教 育 部 長	大 内 真 利
教育総務課長	佐 藤 隆 嘉
学校教育課長	長 澤 潤
生涯学習課長	関 博
文化課長	本 田 俊 広

○教育長（渡辺） ただいまから令和6年二本松市教育委員会12月定例会を開会いたします。

(宣言 午後3時00分)

○教育長（渡辺） これより会議に入ります。

教育長、委員の出席状況を報告します。現在の出席者は5名全員であります。会議の定足数に達しておりますので、本会議は成立いたします。

次に「2 会議日程の決定」ですが、会議が終了するまでといたします。

続きまして「3 会議録署名人の決定」ですが、関奈央子委員と関健至委員の2名を指名いたします。

つづきまして、「4 前回会議録朗読承認」について事務局より説明をお願いします。

(事務局より、令和6年11月21日の定例会の会議録を朗読)

○教育長（渡辺） ただいま事務局より会議録の朗読がありました。皆様からご質問等ありますか。

(「特になし」の声あり)

○教育長（渡辺） それではただいまの会議録については承認することよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長（渡辺） ただいまの会議録についてはご承認いただきました。

本日の定例会は教育長報告10件とその他1件、議案なし、協議事項3件を予定しております。それでは「5 教育長報告」に入ります。「1 市議会12月定例会の結果について」事務局より説明願います。

(事務局より説明)

○教育長(渡辺) 事務局からの報告が終わりました。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長(渡辺) つづきまして「2 二本松市立小学校及び中学校の適正配置計画の素案について」事務局より説明願います。

(事務局より説明)

○教育長(渡辺) 事務局からの報告が終わりました。

委員の皆様から質問や疑問、感想等いただければと思います。また、今後について、義務教育学校の開校についてであります。校舎改修に必要な期間や改修内容についてなど調整中であり、できるだけ早くお示しできるように考えておりますが、おおよそ令和10年度から12年度の間を開校をしていきたいと考えております。できるだけ早く開校し、子どもたちが学びやすい環境で、充実した学びを展開したいと考えております。ぜひ、皆さま、お気付きの点等質問いただければと思います。

○太田左恵子委員 岩代地域が義務教育学校、東和地域が小中一貫校、これはどうして分かれているのか教えていただきたい。

○学校教育課長 義務教育学校は、特色ある、その学校独特の教育課程を編成できるという利点があります。小中一貫校には9年間を見通して、小学校、中学校の教育課程そのものについては、学習指導要領に基づき学んでいきます。

岩代地域につきましては、各地の伝統行事や施設が、グリーンフィールドを中心に、体育館・図書館があり、史跡がある等地域全体が学びのフィールドという事で、岩代地域であるが故に地域密着の学びが推進できる。グリーンフィールドがあるのでスポーツに特化したものにしよう、等特色ある特化したものが編成できるという利点があります。

東和地域につきましては、どんな子どもとして義務教育を終えるか、という目標に向け小学校1年生から中学校3年生まで向かっていける、そういった利点があります。

一番は岩代地域の学びのフィールドを存分に生かせる特色ある教育課程を編成できる、という利点を追求したいがための義務教育学校の設置、という事が一番大きな理由となります。

小中一貫校は小学校、中学校と分かれています。義務教育学校は6年、3年に分けて、1・2年生を低学年、3～6年生と中学1年生までを中学年、という様な変則的な編成も可能となるため、人数が学年毎にばらついていても

学びの保障が出来るという利点があります。

外にもあると思いますが、ここまでとさせていただければと思います。

○**教育長（渡辺）** なお、東和小学校と東和中学校の現状を最大限生かすことが可能な小中一貫校と、学校教育課長の説明にあったように、岩代地域の5校を1校にする上で、特色ある魅力ある新しい学校を作っていく、という教育委員会、市の判断の下で、学校からコミュニティを作り上げていくという願いを込めながら、新しい学校をつくるという意欲の表れ、と捉えていただければと思います。

○**太田左恵子委員** 今の説明を聞いて、岩代地域が義務教育学校になるのはなぜか、取り残された気持ちにならないと良いなと思っておりましたが、地域密着の学びが出来る、これは私の理想なので、凄く力を入れて頑張っていただけたら面白い学校づくりができるのではと思います。とっても期待してます。よろしく願いいたします。

では、なぜ東和は義務教育学校にしなかったのか。

○**教育長（渡辺）** 今の東和小学校、中学校は現在も小中連携ということでのいろいろな形で連携しており、学校評議員委員会も一体化して取り組んでいる等という良さを最大限に生かすことを考えたとき、その現状を最大限に生かすことができるため、東和地域は小中一貫校なんだ、と捉えていただければと思います。

○**太田左恵子委員** 私は6年3年生が良いとっていて、東和の小中一貫のやり方が理想だと考えています。岩代は岩代に合った、東和には東和に合ったやり方を選ぶというのは上手い選択だったと思います。

○**教育長（渡辺）** 義務教育学校は全国の事例を見ると5年4年制や4年3年2年制ということで区切りを大きく変えています。子どもたちの体の変化等を見ると、小学5・6年生は低学年と全然違います。小学5年生から中学1年生をひとつに見て、1年生から4年生を入門期と見て、高校入試を控える中学2・3年生をひとつのまとまりと捉えて、その中で最大限の効果を生むというような取り組みが全国的には主流になっており、その点でも魅力的な学校経営が出来るというのが義務教育学校なのかなと考えております。ある意味4年と3年と2年のうち、3年の部分をどう繋ぐかという事が良い学校にしていく上で大切であると思います。力のある校長先生、ロマン、ビジョンがないと良い学校にならないので、今から私たちも努力していきたいと思っております。

○**佐藤英之教育長職務代理者** 今まで検討してきたことが網羅されていると思いましたし、時期の見通しについても初めて出てきたのでいよいよだなと感じました。校舎については、小浜中の場所にと説明がありましたが、小浜地区は道路等の条件もかなり悪いので、地域を巻き込んだ中での通学路の確保とか、校

舎と合わせて配慮をしていただければと思います。そう考えると、地域、PTAの理解・協力をどの様に得ていくかが重要になっていくと思います。検討に加えて進めていただければと思います。

それから、教員の配置については、免許の関係があるので難しい所ではありますが、これも計画的に行かないと、教員配置が上手くいかない、という例も伺ってきておりますので、長期的に検討する必要があると思います。よろしくをお願いします。

○**教育長（渡辺）** ゆくゆくはスクールバス等どう計画していくかということも地域の方々にご意見いただきながら丁寧に進めていかななくてはとっております。教員の配置等について、義務教育学校は小学校と中学校の教員免許が必要とされており、今は経過措置もありますが、両方の免許を持つ先生の配置をお願いし、専門性を生かした教育をしていきたいと考えております。また、統合後教員の加配が付くので、その点も計画的にお願いしていければと考えております。

○**関奈央子委員** 東和は小中一貫校ということで、変化がないことでほっとする保護者もいると思いますが、義務教育学校は色々注目され、新しい教育を受けられるということで、なぜ、義務教育学校にならなかったのかと感じる保護者もいるのではと思いました。市として岩代地域で義務教育学校をスタートさせ、どう変化するのか、どの様な学校になるのかを注目して、その後その変化を周りの学校に取り入れる等、市全体で変化していければ良いのかなと思いました。一気に義務教育学校等に替えていくこともないのかなと思いました。

○**関健至委員** 未来に向けては素晴らしいものと思いますが、5年くらいはかかるという事で、それまでの間、廃校になるということで、修繕必要であってもお金を掛けず現状維持ということになると、今通学している子どもたちがかわいそうなので、廃校になる学校であっても、在学する子どもたちのために同様の教育を受けられるよう気を付けて取り組んで欲しいと思います。

○**太田左恵子委員** 今、目先の現状で統廃合を考えても、5年、10年たった時思った以上に早く子どもたちが少なくなるのではと考えております。その時、その時代にあった学校が作れるのか、10年先20年先を考えて動いていかないと、学校の施策が遅れて間に合わないということになるのでは、とっております。岩代地域を見ると、令和15年には3分の1と予測されていますが、開校した時には当初計画と全然違うことに、少なくなっているのでは。これから子どもたちがどんどん減ることは分かっているので学区を考え直してはどうでしょうか。例えば小浜地区に出来る義務教育学校は地域密着型の教育をするのであれば、情操教育に力を入れる、東和の学校ではスポーツが出来る、二本松、安達の大きな学校ではこれまで通りの教育が受けられる、等特色ある教育

をする。そうすると、不登校になって学校に行けない子が、学校を変更しても良い、そうすることで不登校を作り出さないために、あえて学区を作らず、特色ある学校を作ってはどうか、と以前発言しましたが、なかなか追いつかないことは分かるので、岩代地域の義務教育学校に、東和は小中一貫校にする、等進めながら、もっと視野を広げ、長いビジョンで見て、動いていただければと思います。

○**教育長（渡辺）** 二本松全体で学校教育を考えるのは大事だと思います。戒石銘のコンクールの発表や青少年健全育成の発表でも、二本松で学んでいるからこそ素晴らしい発表を出来る子どもたちが育っているなど、将来に対する希望が持てたという事と、地域で学んでいるからこそ、地域の方に応援してもらい自信をつけて育っている、これは人間形成にとって大事な部分で、地元愛は大事だと思っております。二本松で学ぶ部分、地域や地区で学んだ部分、色々な人に入ってもらい、多くの目で育て、自分は色々な人に育てられているという感謝の気持ちを持つ、それで人間は成長していくと思いますので、大事なことだと思います。将来的に二本松を、地域を背負って立つ子どもたちを育てるとするのは大事だと感じております。

太田委員からあった、10年後20年後を見据えながらですが、目の前の子どもの現実に加えて、子どもたちが10年後20年後、どんな世界になり、どんな活躍をするのかイメージしながら学校教育を展開して欲しいと、校長会等で話しますが、教育委員会においても、10年後20年後の世界や、そこで子どもたちが活躍するにはどうすれば良いのか、ということ想定しながら進めたいと、気持ちを引き締めながら取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

貴重なご意見ありがとうございました。以上で本件は終了いたします。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○**教育長（渡辺）** つづきまして「3 不登校児童の現状について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○**教育長（渡辺）** 事務局からの報告が終わりました。皆様からご意見等をお願いします。

○**関健至委員** 不登校は1%程ということですが、全国的にはどうなのでしょう。また、各学校で差はあるのでしょうか。

○**学校教育課長** 全国的には3%程度ですが、二本松は少ないという分析ではなく、若干不登校者が多いと捉えており、小学生に関しては若干多いと考えております。また、人数としては規模の大きな学校は多く、割合も高めだと考えて

おります。

- 佐藤英之教育長職務代理者** 支援センターとやり取りをし、支援センターに通うなど子どもの居場所づくりとしては進んでいると思います。学校内を見ると毎週、状況を報告し、変化を共有しながら声かけ等を行っていますが、不登校は要因が難しく、改善がなかなか難しいのかなと思います。やはり、学校の中でも多い学年、少ない学年もあるので、何かしらあるとは思いますが、直接的な原因は本当に難しいと思います。ただ、将来のことを考えれば丁寧に、今後どうやって生きていくのかということも含めながら、親との相談の機会も中学3年生になると増えていくのかなと思います。特定の地域だから多い、そればかりではないとも思います。
- 教育長（渡辺）** 原因が特定できれば対応しやすいところもありますが、一人一人の要因が別々な状況です。子どもに合わせた対応が求められているので、学校も頑張っておりますが、スクールカウンセラーのアプローチや、家庭の事情がある場合はスクールソーシャルワーカーに活躍いただくなどもあります。教育支援センターでの対応のほか、今年から安達中学校ではスペシャルサポートルームということで、校内での支援センター的な要素で県から教諭の加配を受け、教室に入りにくい子どもに対し、そこで先生の支援を受けながら学習する取組を行っております。また、二本松第一中学校では、生活相談員を市で確保し、教室に入りにくい子どもたちの対応をしており、いろいろな角度から子どもたちに居場所をつくるような取り組みを行い、子どもたちが学びを継続できるようアプローチをしている現状です。何とか子どもたちの居場所や自己肯定感を感じることができるよう取り組みを展開しております。
- 太田左恵子委員** 教育支援センターは一中学区にあります。他の学区の子はどのようなところに行くのでしょうか。
- 学校教育課長** 支援センターについては、保護者の協力を得て通所しております。課題としては、支援センターでは近くの公民館等に指導員が出向いて指導していく体制づくりを望んでおり、学識経験者、通所する保護者が参加する支援センター運営協議会ではその話題になります。支援センターの職員が送迎する方法も考えておりますが、万が一の場合がありますので、今後他市町村の事例を情報収集しながら実現に向け動きたいと考えております。今は保護者の協力を得て通所いただいているというのが現状であります。
- 教育長（渡辺）** ある程度回復している子どもたちは、タブレットが配置されているので、オンラインで授業状況を流して学ぶとか、オンラインを使っている健康確認などを行っている事例があり、これから有効な方法になると思っております。条件を満たすことにより、出席扱いにすると文科省から通知も出ておりますので、これから課題等明らかにしながら進めて行きたいと思っておりま

す。

○**関奈央子委員** 生徒の選択肢が広がれば良いなと思っており、二本松市は教育支援センターがあり、学校にいけなくても、ここならということもあると思います。また、安達中学校のスペシャルサポートルームという取組ですが、先生の確保は難しいと思いますが、今、保健室に行っても教室に行けない子がたくさんいるという話を聞いているので、ぜひ、学校に居場所を作っていただけたらと思います。

○**佐藤英之教育長職務代理者** あわせて、センターがあり、学校があり、ということになれば、安達中学校の子どもを見ても、今日はテストがあるからこちらに、今日は授業だからこちらに、とセンターと連絡を取りながら子どもの気持ちを大切にしながらやり取りを行っているので、場所が増えることで、選択肢も増えると思います。

○**教育長（渡辺）** 子どもの居場所、安心できる場所があるかどうかが大変だと思いつながりながらお話を聞きました。マンパワーが必要かなと思いますが、関奈央子委員からもありましたが、保健室は大変重要で、そこにくると子どもも安心した表情を見せ、しばらくして元気になり教室に戻る子どももおります。子どもがほっとできる場所というのは大変だと思っておりますので、その点も含めて努力していきたいと思つきます。

以上で本件は終了してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○**教育長（渡辺）** つづきまして「4 第3回二本松市小・中学生ビブリオバトル大会の結果について」事務局より説明願つきます。

（事務局より説明）

○**佐藤英之教育長職務代理者** 第1回と比べると本の質も違い、レベルも高くなり凄いなと感じました。

○**教育長（渡辺）** 私も初めて見ましたが、二本松の子どもは凄いなと思つきました。本の紹介も中身も凄く、原稿なしで内容を熱く語る、かっこいいなと思つきました。中学生もそうですが、小学生も自分の言葉で本の内容を朗々と語る姿を見て、この子たちの将来が楽しみになり、素晴らしいなと思つきました。機会があれば、来年ぜひご覧いただければと思つきます。

よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○**教育長（渡辺）** それでは、続きまして「5 第13回二本松市一周駅伝競走大会の結果について」事務局より説明願つきます。

（事務局より説明）

○**教育長（渡辺）** 事務局からの説明が終わりました。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長(渡辺) それでは、続きまして「6 寄附の受納について」事務局より説明願います。

(事務局より説明)

○教育長(渡辺) 事務局からの説明が終わりました。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長(渡辺) それでは、続きまして「7 二本松歴史館企画展「文政七年岳山崩れと安達太良山のめぐみ」の開催結果について」「8 二本松歴史館企画展「今年で360年!二本松の提灯祭り」の開催結果について」は企画展の報告のため、一括報告としてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長(渡辺) それでは、「7 二本松歴史館企画展「文政七年岳山崩れと安達太良山のめぐみ」の開催結果について」「8 二本松歴史館企画展「今年で360年!二本松の提灯祭り」の開催結果について」事務局より説明願います。

(事務局より説明)

○教育長(渡辺) 事務局からの説明が終わりました。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長(渡辺) それでは、続きまして「9 大山忠作美術館開館15周年記念特別企画展「大山忠作襖絵展～成田山新勝寺襖絵「日月春秋」」の開催結果について」事務局より説明願います。

(事務局より説明)

○教育長(渡辺) 事務局からの説明が終わりました。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長(渡辺) それでは、続きまして「10 芸術鑑賞事業「堀内孝雄コンサート」の開催結果について」事務局より説明願います。

(事務局より説明)

○教育長(渡辺) 事務局からの説明が終わりました。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長(渡辺) それでは、続きまして「11 その他」1件について事務局より説明願います。

(事務局より油井小学校で発生した桜の枝落下による損害賠償について説明)

○佐藤英之教育長職務代理者 桜の枝が落下したのは油井小学校の玄関付近でしょうか

○教育総務課長 油井小学校校庭の反対側となります。

○教育長(渡辺) 学校でも、日常点検は元より毎月1回の安全点検を行っているのですが、気が付かなかったところもあり、改めて、子供の目線で安全点検

を実施して欲しいということ、枝の落下事故は全国的にも大きな事故に繋がっているケースもありますので、緊張感をもって点検をするよう学校へ伝えてあります。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） 以上で「5 教育長報告」を終わります。「提出議案」については今回ありませんので、「7 協議事項」に移ります。「1 次期教育委員会の開催日程について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○太田左恵子委員 小中学校の卒業式、入学式日程も教えていただきたいと思えます。

○教育長（渡辺） 中学校卒業式が3月13日木曜日、小学校が3月21日金曜日になります。入学式は4月7日月曜日、午前が小学校、午後が中学校となっております。詳しい日程はまたご連絡いたします。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） それでは、この日程でよろしく願いいたします。

続いて「2 今後の日程」に移ります。始めに「総合教育会議について」、事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局の説明が終わりました。よろしく願いいたします。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） 続いて「教育委員会新年会について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局の説明が終わりました。よろしいですね。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） 続いて「二十歳のつどいの役割分担について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局の説明が終わりました。この内容でよろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） 続いて「二本松市内小・中学校管理職教育懇談会について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局の説明が終わりました。よろしく願いいたします。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） 続いて「令和6年度福島県市町村教育委員会連絡協議会安達支会研修会について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局の説明が終わりました。後日出欠を確認させていただきますのでよろしくお願いいたします。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） では「3 その他」に移ります。「専決処分の予定について」、事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局の説明が終わりました。よろしくお願いいたします。  
その他何かございますか。

（事務局より「インフルエンザの拡大について」説明）

○教育長（渡辺） 事務局の説明が終わりました。インフルエンザ等については事務局より連絡させていただいております。拡大を防ぐため学年閉鎖等の判断をすることとなりますのでよろしくお願いいたします。

その他、皆さまから何かございますか。

○太田左恵子委員 小浜中学校区の方から相談を受けました。小浜中学校下の県道について、歩道がありませんが、白線も消えていて子どもたちの通学時危ない状況だという話があり、交通安全協会の分会長に確認いただいたら、途中から歩道が切れ、白線が消えかかって、子どもたちが道路の端を歩いていますが、側溝の蓋も欠けていて、万が一躓いた時は危ないのではという報告を受けました。県道なので市で対応できるか分からないのですが、通学路なので安全を見ていただければと思います。歩道までは望まないでグリーンベルトを付けていただければというお話でした。子どもたちの安全のためにも対応していただければと思います。

○佐藤英之教育長職務代理者 そこに関して、以前小浜に勤務しておりましたが、道路の片方は川で、車が来ても逃げるできない。左側通行でも良いか警察に問い合わせをしたところ、その場所は危険なので、川側は危ないので反対側の山側を通ってくださいと回答がありました。そこは確認した方が良いと思います。地域の人にも知っていただくと良いと思います。

○教育長（渡辺） ご意見いただきましたので、確認したいと思います。ありがとうございました。その他ございますか。

（「なし」の声あり）

○教育長（渡辺） 長時間にわたりましてありがとうございました。

以上で、本定例会の日程は全部終了いたしました。

これをもちまして、令和6年二本松市教育委員会12月定例会を閉会いたし

ます。ありがとうございました。

(宣言 午後4時41分)